

令和4年度 長崎県立平戸高等学校学校関係者評価

1 評価の実施期日

令和5年2月16日(木) 15:00～16:30

2 学校関係者評価委員

学校評議員と兼務 5名

3 学校関係者評価の内容

(1) 学校現況報告

・学校経営方針、検定合格状況、部活動実績、進路決定状況、授業研究会、教育相談

(2) 学校評価説明

・生徒、保護者、職員評価アンケートの結果と分析

(3) 委員からの意見等

- 地域と密着されるような取り組みを意識しておられる。
- コロナ禍収束を見据えた学校経営をさらに期待します。平高新聞とても読みやすい。
- 「平戸高校に入学して良かったと思う」が高評価で嬉しく思う。
- 生徒の評価が低い項目は、生徒が努力しようという前向きな気持ちの表れでしょう。
- ソフトテニス部は良く健闘している。部活動数が少なく、不本意な生徒もいるのではないか。
- 家庭ボランティア部のように地域の中でも活動・連携が増えるとうれしい。
- 生徒が自主的に活動している姿がうかがえます。
- 一人一人の生徒に対し、個別に丁寧に就職斡旋をなさっておられる。
- 「分からない時に分からないと言える仲間や先生が多くいる」が高評価なのは、先生方が親身に相談に乗ってくださっている証拠。
- ここ数年継続されておられる「学びの共同体」について、生徒の主体的学びや自己肯定感の向上に繋がっている。
- 不登校生徒に対する支援も手厚くしていただいている。
- 教育支援の回数が多く、本気度が伝わります。
- アルバイト実施報告書提出によって、生徒達の仕事に対する思いやお金を稼ぐことの大変さが聞けて良い試みだと思います。